



# ヒューマン・プライム通信

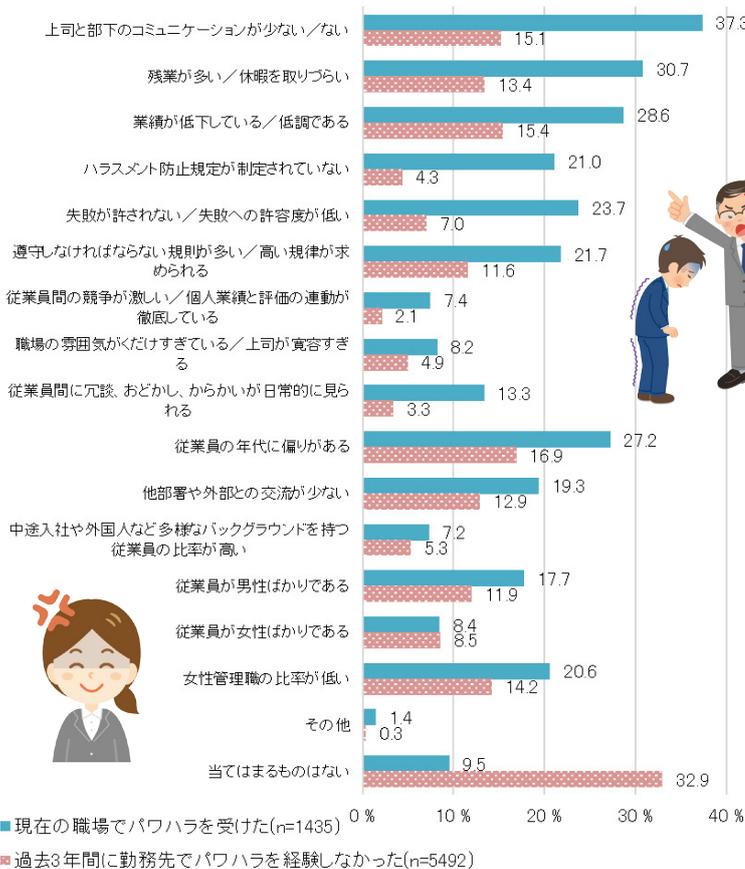
社会保険労務士法人ヒューマン・プライム  
株式会社ヒューマン・プライム  
東京都中央区日本橋人形町1-18-9  
ATビル5F 〒103-0013  
TEL.03-5695-7700 FAX.03-5623-2052  
MAIL. info@humanprime.co.jp

人事や労務の相談から監査まで、企業の立場に立ってアドバイスをする独立系人事・労務コンサルティング会社

## 公表 「職場のハラスメントに関する実態調査」に関する報告書

令和3年4月30日、厚生労働省が「職場のハラスメントに関する実態調査」(調査実施者：東京海上日動リスクコンサルティング株式会社)報告書を公表しました。この調査は昨年10月、全国の企業と労働者等を対象に一般サンプル調査、特別サンプル調査(女性の妊娠・出産・育児休業等ハラスメント、男性の育児休業等ハラスメント、就活等セクハラ)として、全国の従業員30人以上の企業・団体24,000件を対象に実施し、6,426件の回答(回収率26.8%)を集計したものとされています。 ※詳細資料：厚生労働省HP

### パワハラに関する職場の特徴(パワハラ経験有無別)



ハラスメントの種類について、過去3年間に相談があったと回答した企業の割合は、高い順に

- パワハラ (48.2%)、
- セクハラ (29.8%)、
- 顧客等からの著しい迷惑行為 (19.5%)、
- 妊娠・出産・育児休業等ハラスメント (5.2%)、
- 介護休業等ハラスメント (1.4%)、
- 就活等セクハラ (0.5%)

となっており、パワハラが最も多くなっています。

また上記厚生労働省HP資料、労働者等調査における「ハラスメントに関する職場の特徴」についての調査結果によると、パワハラ、セクハラともに

- 上司と部下のコミュニケーションが少ない/ない
- 残業が多い/休暇が少ない
- ハラスメント防止規定が制定されていない
- 失敗が許されない/失敗への許容度が低いなど

といった特徴が見られます。

他の調査結果としては、ハラスメントの予防・解決のための取組を進めたことによる副次的効果として、「**職場のコミュニケーションが活性化する/風通しが良くなる**」(35.9%)の割合が最も高く、次いで「**管理職の意識の変化によって職場環境が変わる**」(32.4%)が高くなっています。

※セクハラのグラフは、厚生労働省HP資料「別添1 職場のハラスメントに関する実態調査 主要点」のP4(図4)をご参照ください。

ハラスメントに関して実施している雇用管理上の措置としては、「相談窓口の設置と周知」が約8割と高いのですが、一方で、「相談窓口担当者が相談内容や状況に応じて適切に対応できるようにするための対応」が約4割と低い結果になっています。



ハラスメントは被害を受けた労働者だけではなく、加害者にも人事査定や懲戒処分等により悪影響を与えます。また会社にとっても職場環境や人間関係の悪化、人材の流出、企業評価の低下、採用への影響など大きな損害が発生してしまいます。各企業様におかれましてはハラスメントの予防・解決のための取り組みを推進して頂きたいです。ヒューマン・プライムでは、ハラスメント防止コンサルタントによる研修などのサービスをご用意していますので、この機会にぜひご検討ください。

ご不明な点がございましたら、ヒューマン・プライムまでお問い合わせください。TEL.03-5695-7700

この通信がご不要な方は、お手数ですが弊社までご連絡ください。